

名学芸大生が創作
土産物のデザイン
柴で展示始まる

名古屋学芸大(日進市)メディア造形学部の学生が創作した「名古屋みやげ」のデザインを集めた「NAGOYA みやげ VIS ION(ヴィジョン)展」が十八日、柴のナディアパーク、国際デザインセンターで始まった。二十三日まで。

尾張、三河地方を含む名古屋ブランドの向上を狙いに、同学部デザイン学科の四年生が制作した二十九作品が並び、独自のデザインしたイラストや容器、包装箱などを使って、既存の商品を魅力ある土産物に変身させた。

「はじめての八丁味噌」と題した作品は、みそを小さなしゃれた容器に入れ、包装はイラスト入りのかわいらしいデザイン。初めて買

う人にまず少量で抵抗なく試してもらおう狙いだ。喫茶店でコーヒーを頼んだときに出るスナック菓子の詰め合わせ、名古屋城の「金のしゅちほい」をかたどったういろうを土産物にするアイデアもある。

赤尾玲子さん(こ)は、県が全国一の生産を誇るイチジクと、名古屋生まれのラムネ菓子を組み合わせた「いちじくってーラムネ」を考案。「同級生の作品を見ると、名古屋出身の私も気付かなかつた発見がたくさんあって楽しい」と話す。入場無料。



学生たちがデザインした新々な「名古屋みやげ」=柴のナディアパークで